

【新技術紹介:光ファイバー計測技術】

当社は、成形加工技術の問題点を解決するため、可視化解析装置の開発に力を入れてきた。この技術をさらに進化させ、押出設備の温度分布及び、ひずみ分布を連続的に測定し、CAE解析及び可視化技術と組み合わせ、押出機設備内部の挙動を精度よく把握するための開発を進めている。図1はTダイリップ部にこの技術を利用した事例である。

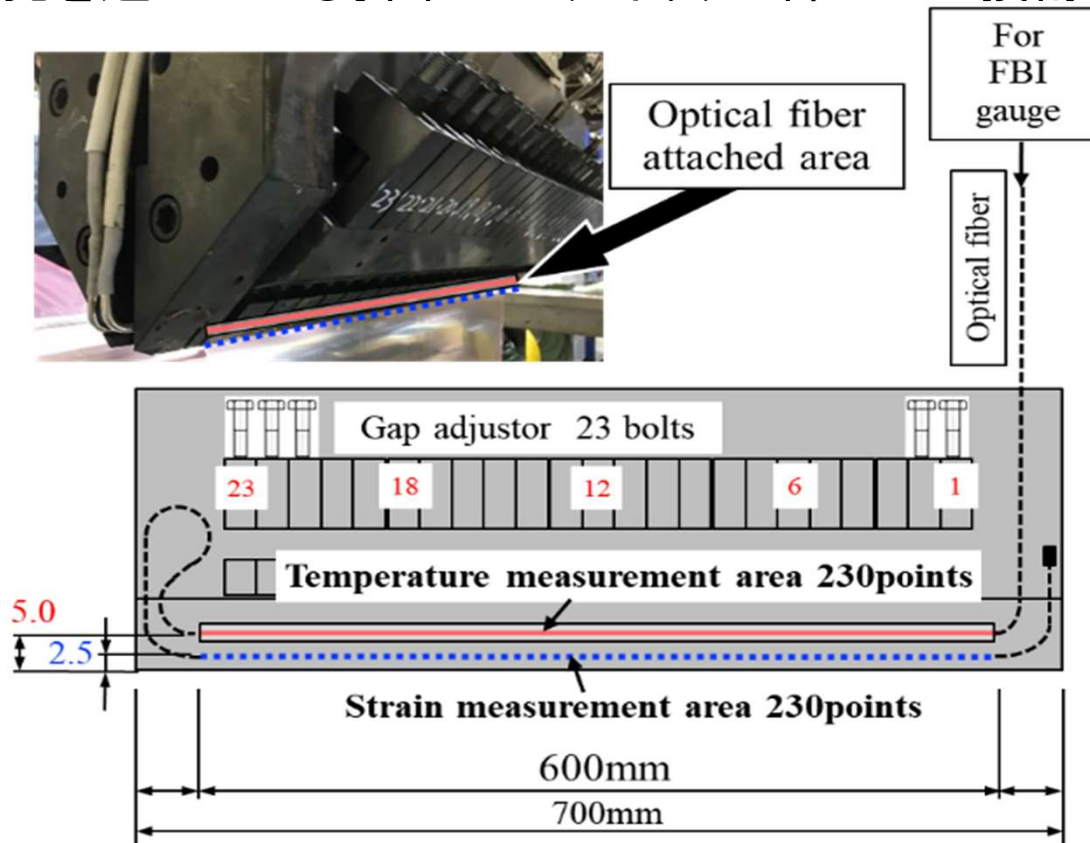


Fig.1 Attaching optical fiber to T-die

図1 Tダイリップひずみ測定

図1の出典は、成形加工学会2020年6月年次大会
「光ファイバー計測手法によるTダイリップ部の温度・ひずみの分布と経時変化の詳細観察」